

施工ガイド

セラール・アイカメタル不燃 M 工法

M工法とは、ボード系下地にアイカの不燃壁材やメラミン壁材を施工するための工法です。

施工前にご確認ください

下地のチェック

まずは「**設計・施工に関する下地のご注意**」P.87をよくお読みのうえ、施工可能な下地であることをご確認ください。そのままでは施工できない下地の場合、適切な処理を行ってから施工してください。また、下地材の選定と構造の作製は、建築基準法や火災予防条例などの法令・法規に適合したものであるか、ご確認ください。

プライマー塗布が必要な下地

- モルタル面
- けい酸カルシウム板
- ラワン合板

専用プライマー
アイカ エコエコボンドJW-900N(溶剤系)もしくはRA-900(水系)を全面に塗布してください。

安全対策

溶剤系プライマー等を使用する際は、カタログ本体の裏表紙の「安全にご使用いただくために」の次の項目を追加実施ください。

- 1 換気には十分注意する。
- 2 火気及び換気には十分注意する。
- 3 皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、保護手袋、保護メガネ、前掛け等を着用する。

貼付壁の確認(加熱調理機器廻り)

⚠ キッチン部壁面の下地構造は法令に従い、施工してください。また、セラール表面への熱伝導を防ぐため、次のことが守られていることを確認してください。

ビルトインタイプコンロの場合

- コンロの側面からセラールの表面まで15cm以上離してください。15cm以上離せない場合、コンロの熱により変色やコゲが生じ美観を損なう事がありますのでステンレスパネルを使用してください。(変色やコゲが発生しても不燃性能には問題ありません)
- グリルの排気口が背面側に設置しているタイプのクックトップについてはグリル排気で壁面が高温になり、変色やコゲが生じる場合があります。奥行き65cm未満のカウンターで使用する場合はステンレスパネルを使用してください。
- 奥行き65cm以上のカウンターで使用する場合もコンロやグリルダクトと壁面が近接する位置に設置するなど、壁面が高温になる懸念がある場合はステンレスパネル(ZK-8等)を使用してください。



据え置きタイプコンロの場合

- 据え置きタイプのコンロで壁面とコンロの距離が15cm以上離せない場合(側面、背面)はステンレスパネルを使用してください。

※以上の条件を満たしても直接炎がセラールに当たらないようご注意ください。
※コンロの周囲の壁面構造は各自自治体の火災予防条例などにより規制されます。
※規制に従った構造を作製してください。
※業務用のコンロや調理機器に近接する部位には使用しないでください。
※加熱された鍋類が直接セラールに触れる事が無いようにしてください。



目地について

- コンロに近接する部位に目地を取らないでください。

加工工具

加工に関する道具は下記をお使いください。但し、ハマカケが起らないように刃物は新しいものをお選びください。

- 切断加工 防じん丸ノコ(チップソー・ダイヤモンドソー)

施工時における切断用刃物について

(刃物の規格は「外径」「刃厚」「刃数」よりなっています。「外径」「刃厚」はお手元のハンディーに合ったものを、「刃数」はできるだけ多いものをご使用ください。

セラール		アイカメタル不燃	
外径	刃数	外径	刃数
100φ	60P	165φ	72P
125φ	80P		
165φ	72P	185φ	72P

※アイカメタル不燃は左記の木工用のチップソーで切断可能ですが、刃の消耗は速くなりますので、ご了承ください。

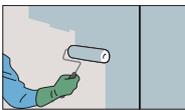
- 穴あけ加工 ドリル(直径12φ以下の場合)、ホールソー

- 仕上げ サンドペーパー、ヤスリ

施工の手順



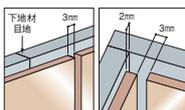
1 プライマー処理



- 下地材がモルタル面・合板・けい酸カルシウム板の場合、全面に予めプライマー「アイカ エコエコボンド JW-900N(溶剤系)もしくはRA-900(水系)」を塗布してください。

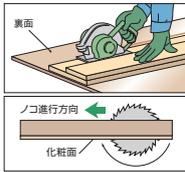
■標準塗布量：
3×8サイズで3~4枚分/kg

2 割付け

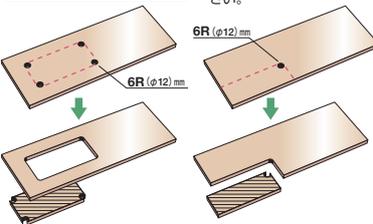


- 下地材の目地と仕上げ材の目地が重ならないように、割付けてください。
- 突きつけ施工はできません。必ず、3mm以上の目地を取ってください。
- ジョイナーで施工する場合にも、必ずクリアランスを取ってください。

3 カット・加工



- 切断は当木を用いて、必ず刃物を表面から入れて裏面から出るようにしてください。(表面には保護フィルムが貼ってあります)
- 穴あけ・切り欠きは必ず6R(φ12)以上の刃物を用いて、表面からコーナー部に穴をあけてから行ってください。



穴あけの手順

- ①ドリルで四隅に穴をあける。
- ②ノコでカットする。
- ③カット面を面取りする。

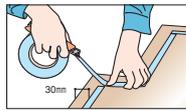
切り欠きの手順

- ①ドリルで角に穴をあける。
- ②ノコでカットする。
- ③カット面を面取りする。

ご注意

セラールは、図のように**ピン角でカット**した場合、クラック発生のおそれがありますので、切り欠きでなく、複数枚を使用する割付けをしてください。

4 仮留めテープ貼り



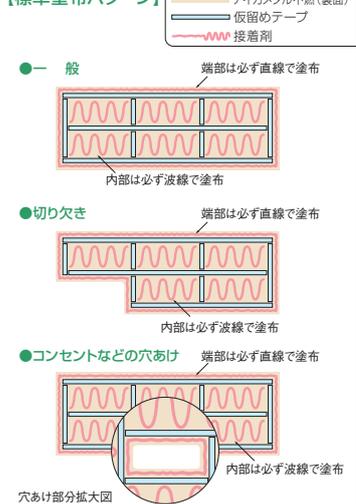
- 仕上げ材の端部に接着剤を塗布するためのスペース30mmをあけて、仮留めテープを貼付けてください。

5 接着剤塗布



- 接着剤は高さ4mmで塗布してください。
- 仕上げ材外周には必ず接着剤を塗布してください。(外周塗布がない場合や、塗布量が少ない場合には、端部の浮きが発生することがあります)
- 仕上げ材3R×8Rに対して、アイカ エコエコボンドSE-1を1本が目安の塗布量です。塗布量が少ない場合、剥がれなどの原因となります。3R×8R以外のサイズにつきましては、接着剤の塗布量および仮留めテープの使用量が異なります。
- 接着剤塗布後10分以内に貼付け仕上げてください。

【標準塗布パターン】

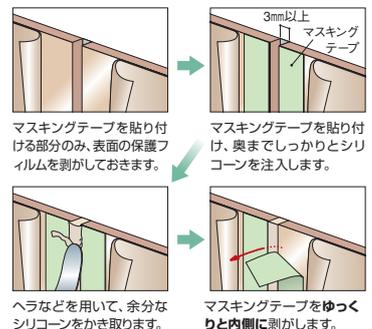


6 貼付け



- 中央部に浮きが発生しないように注意して、仕上げ材を貼付けてください。
- 仮留めテープ部をしっかりと押さえてください。
※接着剤部を押さえると泣き別れの恐れがあります。

7 シーリング処理



- マスキングテープを貼り付ける部分のみ、表面の保護フィルムを剥がしておきます。
- マスキングテープを貼り付け、奥までしっかりとシリコンを注入します。
- ヘラなどを用いて、余分なシリコンをかき取ります。
- マスキングテープをゆっくりと内側に剥がします。

8 保護フィルム剥がし

- 2日間以上養生後、表面の保護フィルムを剥がしてください。

完成

【施工についてのご注意】

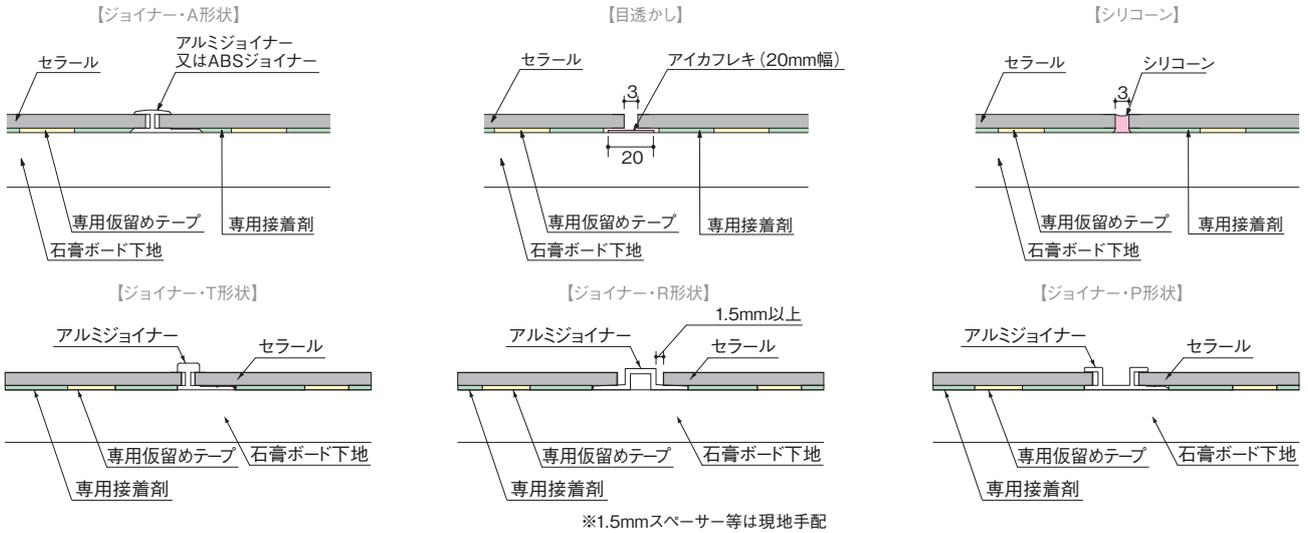
- カット面は目の細かいサンドペーパーを当木にそえて軽く糸面取りしてください。
- 目透かしシーリング納めの場合、カットしてない面も軽く糸面取りしてください。

納まり図 3 (3mm厚パネル用)

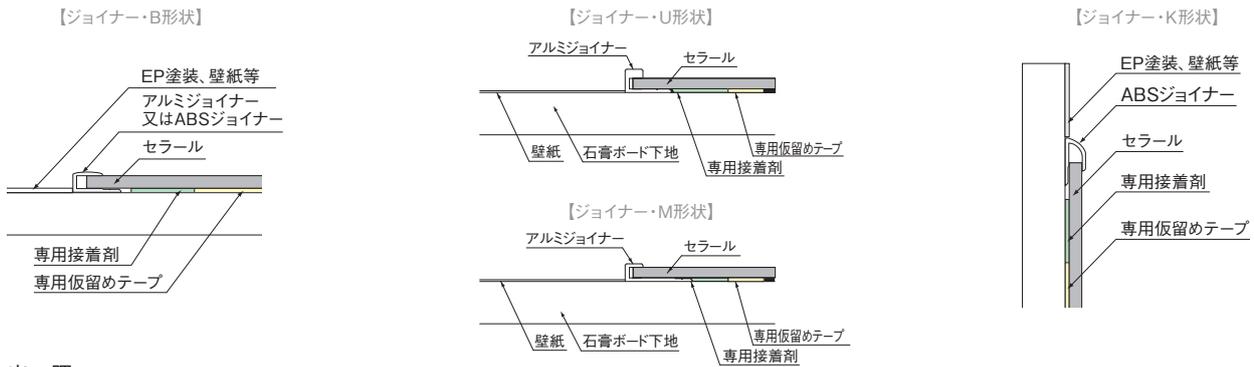
メラミン不燃化粧板

セラール

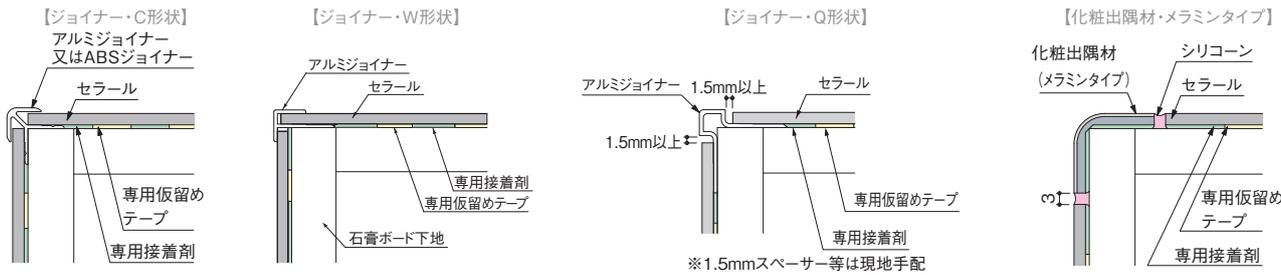
平目地



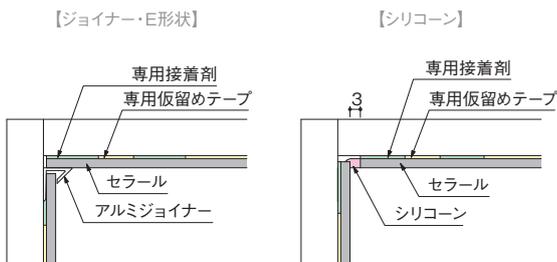
見切り



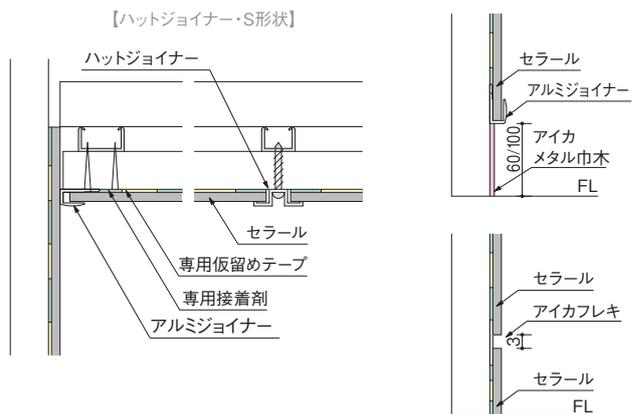
出隅



入隅



天井/壁/床



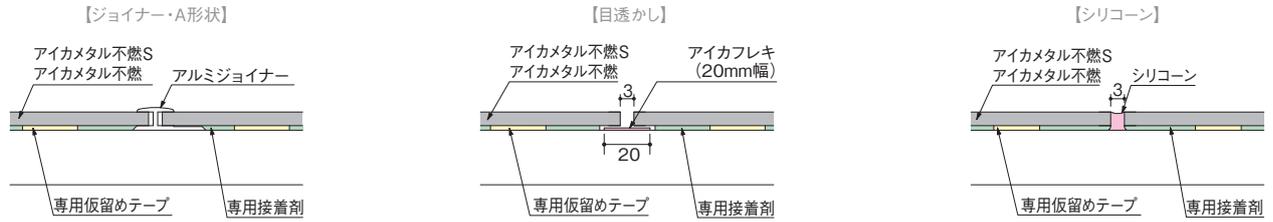
※セラールを巾木としてお使いいただけます。

納まり図 3 (3mm厚パネル用)

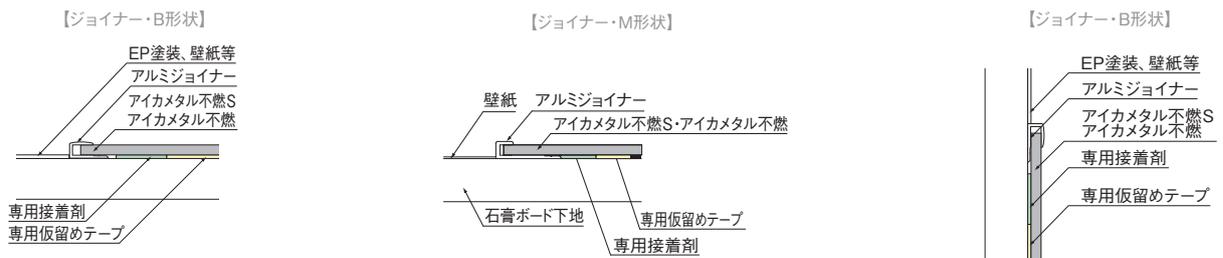
金属箔塗装不燃化粧板

アイカメタル不燃S・アイカメタル不燃

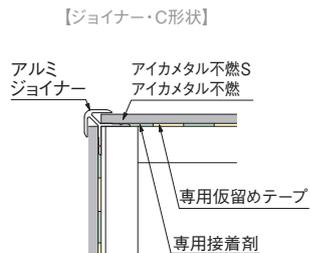
平目地



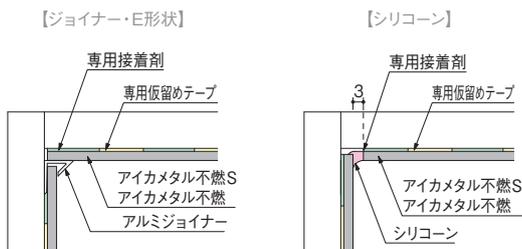
見切り



出隅



入隅



天井/壁/床

